



龍門滝



かじき

広報

題字 宇都宮町長

人口・世帯の動き

(平成5年10月1日現在)

総人口23,491人(21)	出生 18人
男 10,984人(10)	死亡 12人
女 12,507人(11)	転入 86人
世帯数 8,502 (14)	転出 71人

●()内は前月との比較●

収穫

秋の収穫——という。秋は実りの季節だ。

加治木平野を彩っていた黄金色に輝く稲穂の海が、またたく間に刈り倒された。

豊作の喜びは、作った人でなくてはわからない。種をまき、たんねんに育てた後、はじめて実感できるのだ。

だが、今年是不作だった。加治木も例外でなく、収穫はいつもより少なかった。それでも農家の人たちは、

なげき悲しむ暇もなく、来年のことをあれこれと思索しながら動きだす。その無限の活力源は、いったいどこから湧いてくるのだろうか……。

そこに、大地を相手に生きる、したたかな精神力と気骨をみる思いがする。



家族総出の取り入れもまた楽しい……

平成5年

11

月号

今月のページ

- ☆龍門滝温泉20万人突破・滝まんじゅう誕生……2
- ☆議会報告……3～5
- ☆さえずりの森……6
- ☆あきカン圧縮機を設置……7
- ☆まちの話題……8～9
- ☆かじっガラス……10
- ☆保健婦だより……11
- ☆町民体育祭……12
- ☆スポーツ……13
- ☆親子読書……14
- ☆棕櫚十の本・加治木文化財ウォッチング……15
- ☆おしらせ……16

龍門滝温泉二十万人突破!

一年目で早くも達成

毎週月曜日は休館日
朝六時から夜十時まで



龍門滝温泉は昨年十一月オープン以来、その利用客が十月二十九日、二十万人の大台を突破しました。

この日、記念すべき二十万人目の入館者となったのは、老人クラブの団体に志布志町から訪れた伊地知トミエさん（六十七歳）。午前十一時三十分温泉に着いた伊地知さんは、思いもしなかった突然のセレモニーにびっくりした様子でしたが、宇都宮町長や烏丸支配人と一緒にくす玉を割り、記念の二十万人目を祝いました。

現在、龍門滝温泉の利用状況は上々で、町外の団体客も順調な伸び率をみせ、この日訪れた志布志町のマイクロボスの運転手さんも「よか所です、ちよくちよく利用させてもらっていますよ」と加治木町に頼もしいあいさつ。利用客は一日平均になると、休館日などを割り引いてざっと六百四十人程度。毎週月曜日は休館日ですが、朝六時から夜十時という時間帯も好評の一つなのでしょう。県下に開かれた温泉として、加治木名物がまた一つ増えたようです。これからも、みなさんのご愛顧をよろしく願います。

滝まんじゅう誕生!

カライモ風味が持ちあじ



入っていますが、素材のモチ米とカライモはともに地元産。上下をつばきの緑葉二枚で挟んであるため、見栄えもなかなか良く、甘さは適当に押さえられ、焼酎党でもいけると好評です。

龍門滝温泉二十万人突破に合わせて試食されましたが、この日、温泉保養に訪れたかたがたが口々に「おいしい」「あまり甘くなく、お父さんも食べるかも」などと人気は上々でした。これは、宇都宮町長と町老人クラブの懇談会で出たアイデアで、このほか、龍門滝の前に水車を作る話しも飛び出し、目下検討中です。

町では現在、加治木まんじゅうに次ぐ名物商品として、龍門滝や龍門滝温泉のイメージに合わせた「滝まんじゅう」の試作に取り組んでいます。滝まんじゅうは、モチ米のピンク色の皮にくるまれ、中身はカライモをすりつぶしたアンが

この滝まんじゅうは、まだ販売はされていませんが、来年早々から量産され、十個五百円で龍門滝温泉とふれあい物産館で販売される予定です。

資源回収のとき

新聞とチラシは

別々に十文字に

ヒモをかけて!!



佐藤昭徳氏を 教育委員会委員に

定例会では、任期満了に伴う教育委員会委員・榎田静雄氏の後任にすいせんされた佐藤昭徳氏を同意しました。

この結果、教育委員会委員のメンバーのかたがたは、篠原英

熊教育長、留岡繁男教育委員長、寺追慶子委員、佐藤一馬委員、佐藤昭徳委員の五人となりました。

▼佐藤昭徳氏のプロフィール

昭和26年鹿児島大学教育学部二年制中学部体育科を卒業後、教諭として鹿屋農業高校を皮切りに、財部高校、溝辺中学校、八幡中学校、竜門小学校、帖佐中学校などを歴任。

昭和59年に教頭として獅子島中学校に赴任。

昭和63年に校長として東郷中学校に赴任。

平成2年3月に定年退職。

▼住所 反土二二三番地三

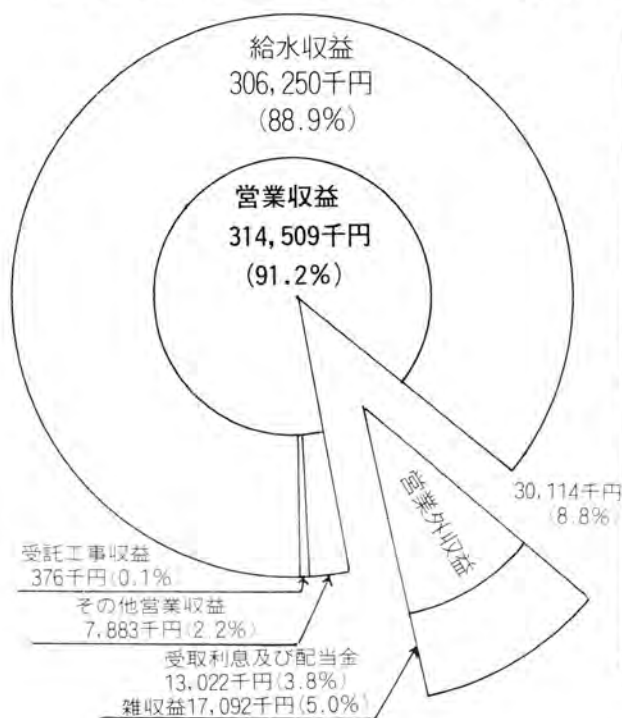
議会報告『第三回定例会』

平成四年度

決算などを承認

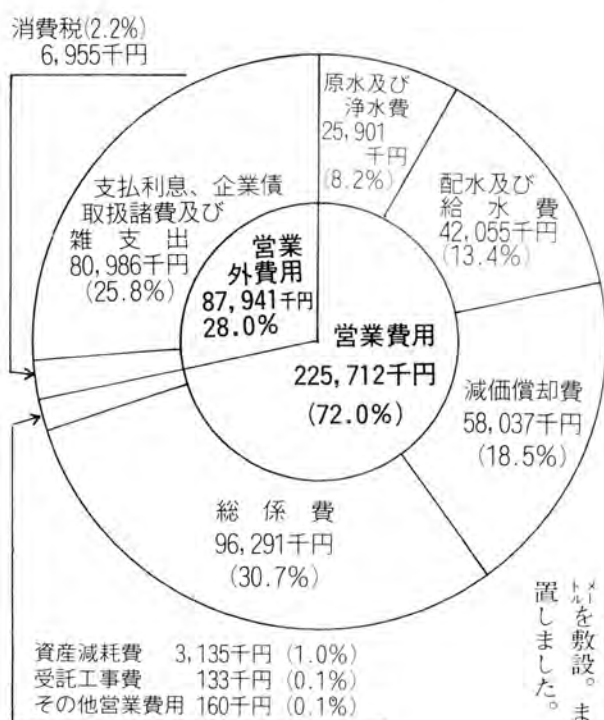
第三回町議会定例会は、九月十四日から十月十三日までの三十日間の会期で開催され、「平成四年度の決算」や「教育委員会委員の任命について議会の同意を求める件」など二十の議案を可決し、ほかに意見、陳情などが審査されました。

▼水道事業収益 3億4,462万3千円



4年度水道事業決算

▼水道事業費用 3億1,365万3千円



当年度純利益は
3,097万円

では三千九十七万円（3年度・三千一百八十七万二千円）の当年度純利益をあげました。

建設改良事業は、既設老朽管の敷設替え、配水管六百七メートル、道路改良による敷設替え七百七十二メートルを実施して、新規に三千六百十二メートルを敷設。また、消火栓五基を設置しました。

水道事業会計の決算額は、水道事業収益が三億四千四百六十二万三千円（3年度・三億三千九百六十八万一千円）で、水道事業費用は三億一千三百六十五万三千円（3年度・三億七千八百九十万九千円）となり、損益勘定

平成4年度一般会計決算

歳入 六八億一、二二万九千円
歳出 六六億三、五〇三万四千円

▼自主財源

平成4年度の経費をまかなった歳入については、町税など自主財源（自前で調達できるお金）は二億七億三、二二万八千円で、前年度に比べて一億七、五一八万円の増でした。

その内訳は、町税一九億八、六四六万九千円、分担金及び負担金八、〇五六万四千円、使用料及び手数料一億六、一八九万二千円、財産収入一億一、一一九万六千円、寄附金二、五五万、繰入金一億三、〇七二万六千円、繰越金四、八八〇万円、諸収入八、一四五万一千

▼依存財源

国や県への依存財源は、四一億七八〇万一千円で、前年度に比べて六億三、五〇九万五千円の増でした。

その内訳は、地方交付税二〇億一、九八七万四千円、国庫支出金七億八、四一〇万六千円、県支出金二億八、二九九万四千円、町債六億八、九四〇万円、地方譲与税一億七、九四六万五千円、各種交付金一億五、一九六万二千円とっています。

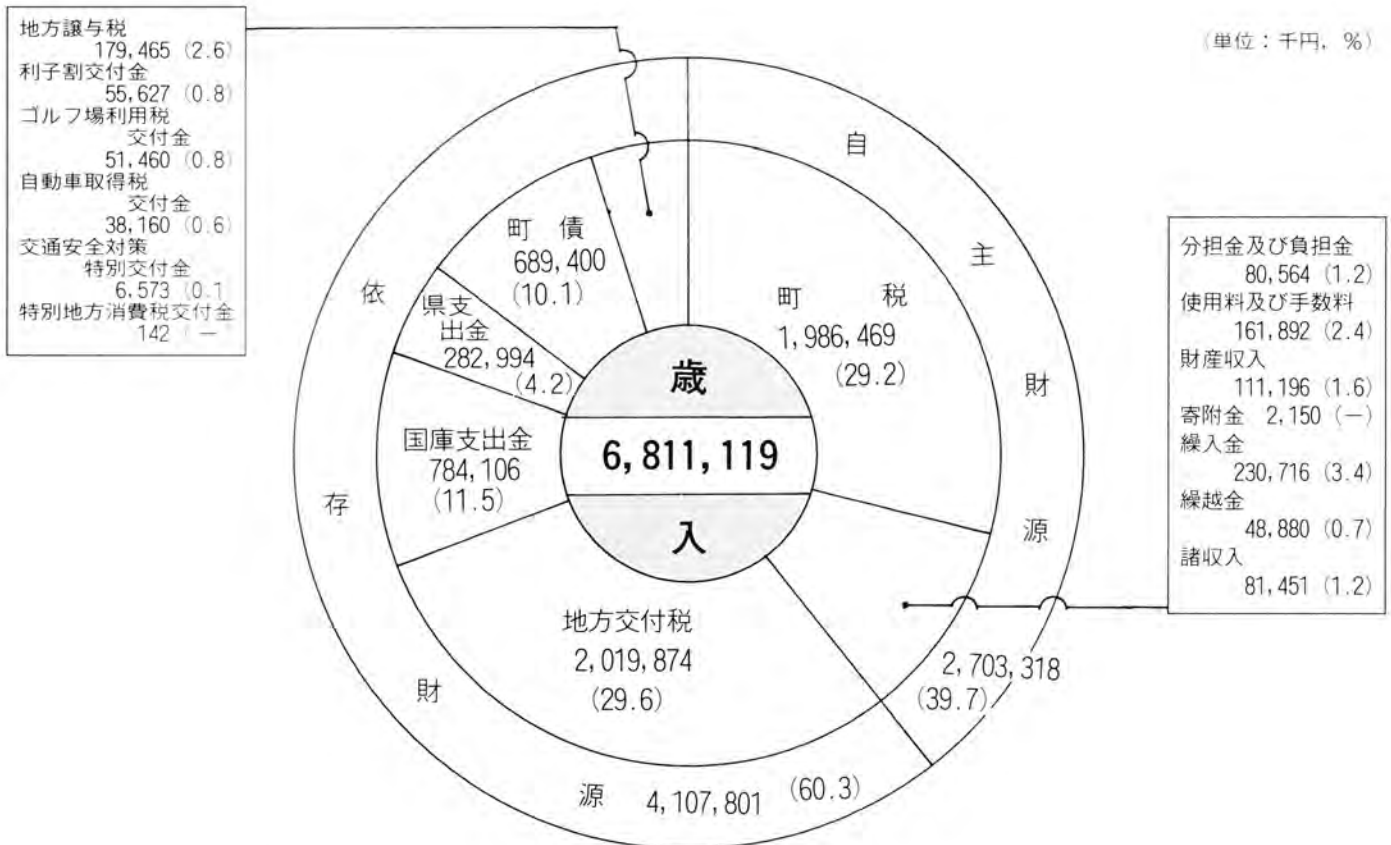
（くわしくは表を参照）

会計別の決算額

単位：千円

区 分	本 年 度 額	前 年 度 額	比 較
総 額	10,137,326	8,745,488	1,391,838
一般会計	6,635,034	5,906,964	728,070
国民健康 保 険	1,268,836	1,142,197	126,639
老人保健	1,967,557	1,627,866	339,691
簡易水道	86,260	27,691	58,569
地域下水	35,200	39,332	△ 4,132
農 林 業 労 働 者	2,243	1,438	805
企業用地取 得造成事業	142,196	0	142,196

(単位：千円、%)



軽自動車税



960円

町たばこ税



3,824円

固定資産税



37,728円

町民税



40,834円

町税総額

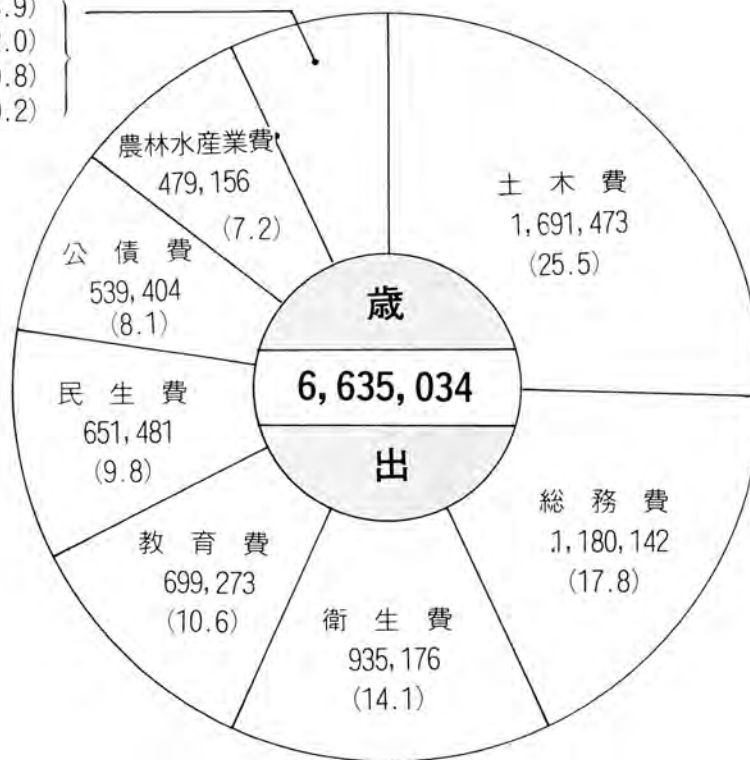


83,346円

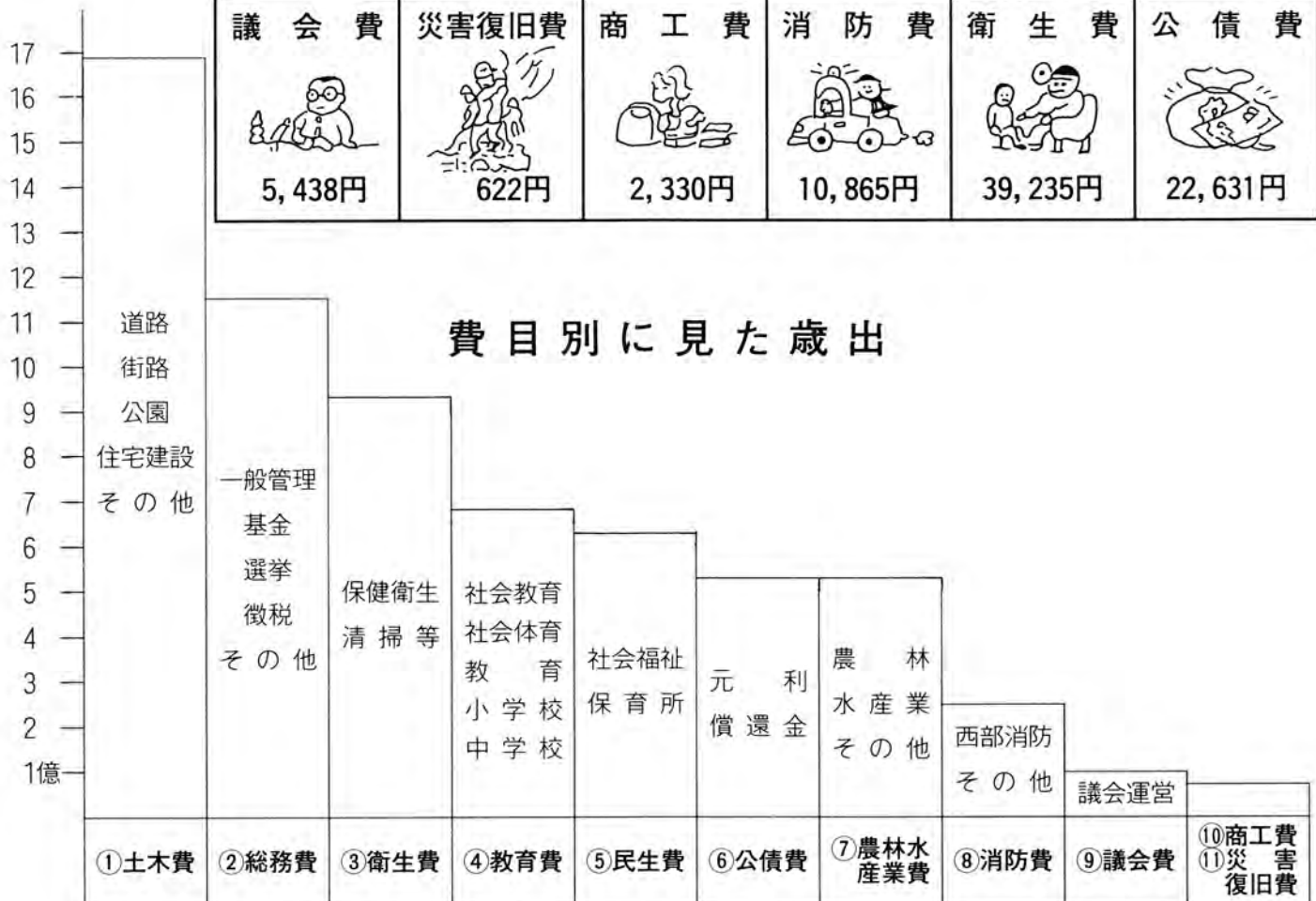
町民1人あたり
が負担する
税23,834人
(国勢調査人口)

消 防 費	258,967	(3.9)
議 会 費	129,608	(2.0)
商 工 費	55,534	(0.8)
災害復旧費	14,820	(0.2)

(単位：千円，%)



総務費  49,513円	民生費  27,333円	教育費  29,338円	土木費  70,966円	農林水産業費  20,103円	一般会計 町民1人あたりに使われるお金 278,374円
議会費  5,438円	災害復旧費  622円	商工費  2,330円	消防費  10,865円	衛生費  39,235円	公債費  22,631円



散策の道

さ え ず り

6年度完成をめざし
順調に建設中！

の

森

「さえずりの森」が晩秋の気配に包まれ、紅葉したモミジの葉が、溪谷から吹き上げる風に揺れている。まるで、訪れた人々を歓迎して手をふっているようだ。

また、森いっぱいには小鳥たちのさえずりがこだまし、そのトーンは「こんにちは、ようこそ」と語りかけているように聞こえる。

久しぶりに味わう自然の息吹。何と、すがすがしく、心地よい気分か……

さえずりの森は今、秋まっさかり



健康トリムコースを歩こう



竜門司坂



深い溪谷はしんかんとして……

龍門滝周辺観光は

みなさんにおすすめしたい「晩秋の散策コース」を紹介します。

龍門滝から竜門司坂、高倉展望所、さえずりの森、かじかの橋、遊歩道、高岡公園に達する秋の散策コースで、秋を満喫するには最適です。

なかでも、晩秋の色が濃い「さえずりの森」は、所々、工事中の箇所もありますが、今が見ごろ歩きごろで、ふけゆく秋を心ゆくまで鑑賞できます。

観光のメイン・龍門滝周辺の整備は、現在、さえずりの森一帯を六年度完成に向けて順調に建設中で、もうすぐその全容が浮き彫りにされようとしています。

また、玄関口にあたる龍門滝温泉は、昨年十一月オープン以来、十月二十九日で記念すべき二十万人目を突破し、町内外のお客さんでにぎわい、おかげで、観光の顔である龍門滝も、その客足を大幅に伸ばしています。



高倉展望所から



あき缶圧縮機を

公共施設に設置

コミュニティ助成事業

町ではこのほど、リサイクルによるゴミ減量化や資源の有効利用を図り、あわせて住民の美化運動やリサイクル運動に対する意識を高めるため、あき缶圧縮機を購入しました。

これは、宝くじの普及広報事業として行われるコミュニティ助成事業（二百四十万円補助）を活用し、電動式六台、ペダル式三台を購入したもので、電動式は福祉セ

ンター、トレーニングセンター、龍門滝温泉、それに役場の町民室ほか二か所に設置し、ペダル式は子供会や老人会などの野外活動用に貸し出すことにしました。

電動式は、あき缶を入れると自動的にアルミ缶と鉄缶を分別する機能付きのもので、町では資源ゴミ回収などに大いに活躍すると期待しています。



私の活躍を期待してネ

わかば親子読書会と

故・曼枝快春さんを表彰

鹿児島県図書館大会

鹿児島県図書館大会が十月二十

五日県産業会館で開催され、席上加治木町の「わかば親子読書会」が優良団体に、また故は枝快春さんが公共図書館・公民館図書室等の功労者として、それぞれ表彰されました。

わかば親子読書会は、昭和六十二年四月に発足。以来、会員数は現在八十九人と大所帯ですが、代表者の永登英利子さんをはじめとする会員一同は、毎月行われる読み聞かせや、クリスマス会、発表

会などを開催しています。

故は枝快春さんは歌人として有名な方ですが、本町図書館教育にも深い理解を示され、万葉集二十巻をはじめとする約二百冊の詩歌関連図書を町立図書館に寄贈されています。

加治木町は、椋鳩十の提唱した「親子二十分間読書運動」の先駆者的役割をにない、県内外にその運動を呼びかけるとともに、町内の親子読書会の育成に力を入れていま



おめでとうございます

黄金色にきらめく

朝の木田路を完歩

健康づくりウォーキング大会

全国自然歩道歩こう会共催による「健康づくり一万歩ウォーキング大会」は十月十七日全国一斉に開催され、加治木町では龍門滝温泉を出発する健康づくりコースに二百六十三人が参加しました。

この日は、それぞれ早足グループとゆっくりグループに分かれ、稲穂が朝日に輝き、黄金の海と化したすがすがしい木田路のコースを完歩しました。

今回は初めての方が多く、早足グループに初めて参加した人は「こんなに速く歩くものとは知りませんでした。もう、くたくたですよ、ほら」と、滝のように落ちる汗をぬぐいながら「でも、終わってみると、体がポツポツして気持ちよいかですね」と上気した顔は、健康色そのものでした。

コースの距離は六・七キロで、所要時間は、早足グループが約一時間、ゆっくりグループが一時間二十分ほど。このコースは一万歩コースですが、これは男性の場合を想定してあります。

歩くコツは、「やや、きつい程度にとどめる」ことが必要で、ハアハア、スウスウとリズムカルに歩くこと、有酸素運動として歩くことが効果的。そのうえで、町健康づくりコースに設定された看板

のある地点（千鳥橋、亀墓、隈媛神社）で各々脈搏測定を行い、きついときは適度に休憩することが大事です。

みんなは、コースに設定してある千鳥橋、亀墓、伊勢神社、隈媛神社の史跡にも興味深げでしたが、散策気分のできる「自分の健康づくりウォーキング」を満喫したようです。完歩後は、配られた龍門滝温泉の無料入浴券をさっそく使って、きれいなお湯でさっぱり汗を流していました。

あなたも、ぜひ今度は挑戦してみませんか。次回の健康づくり一万歩は、十二月十九日です。



黄金色の稲穂の波をぬって

Town news

●まちの話題



ヒマワリのような子供たち

太陽に向かってすすくと

永原小学校の児童は「花と緑の永原」を合言葉に、かねてから学校で花作りにいそしみ、地域に溶け込んだ美化活動をしたり、地域行事に積極的に参加しています。その永原小学校が選んだ今年の夏祭用のみこしは、夏休みに親子で四晩がかりで作った「花と緑の永原」と題したヒマワリの花群。しかし、そのみこしも豪雨のため残念ながらオシヤカに。そこで今回、運動会でお披露目ということになりました。

ハッピー姿も勇ましく、白い歯がこぼれ、弾け飛ぶ玉のような汗が

盆栽も躍り出し……

「文化の日」は、元をたせば明治節。また、戦後は日本国憲法が公布された日として知られてい

ますが、この文化の日の十一月三日、第二十七回町文化祭が福祉センターで盛大に開催されました。



よそ行きの顔の盆栽たち

町文化祭

芸能発表は満席

この日は、いろいろな催し物が行われ、特に芸能発表会会場は昼夜を問わず大盛況で、ホールは詰めかけたおおぜいの人たちでいっぱい。階下では、写真や書道、盆栽、俳句、生花、絵画、編物、短歌の展示会、それに茶会などが行われ、会場はごった返す人の波で終日にぎわっていました。

なかでも、盆栽の会場にめずらしく若い女の子たちが姿を見せると、かねてはサッパツ格好で枝を張る盆栽もにわかに色気ついたか、まるで躍りだしたように生き生きとしていました。

花と緑の里

永原小学校

太陽に光る……。みこしを担いだ子どもたちの雄姿に、見守る父兄も「わが子ながらもムゾか、うん、様になっちゃった」と思わずニッコリ。その後、ハッピー姿のまま全校ダンスをしたり、自治会で作った直径二十センチの見たこともないほどの大きな十五夜用の綱引き合戦も体験しました。

ヒマワリの花のように太陽に向かってすすくと伸び、地域と連携し、地域に根を張る永原の子どもたち。こんな姿が、PTAの理想といえそうです。これからがんばってください。



これは重たいノ



踊る姿もいさましく



ありがとうございます

町に五十万円を寄付



ほどほどの大きさです

アサリの稚貝四トンを放流

錦海漁協では十月十三日、アサリの稚貝四トンを須崎海岸と始良町の松原海岸に放流しました。

稚貝は約二センチほどの、来年の潮干狩りでもこれくらいが関の山といった大きさで、潮の流れにそってバラバラにまかれた稚貝は、これから舌を駆使して海辺を這いずり回り、須崎浜一帯に住みつくことになりす。

漁協組合員の話によると「ここ数年来、アサリの成育が悪く、潮干狩り禁止が相次いでいる状態です。環境汚水の問題もあるのでは……」と頭を抱えていました。

須崎浜一帯に

錦海漁協



まんべんなくバラまかれる

グリーンコープ

かごしま生協

グリーンコープかごしま生活共同組合は十月二十九日、今夏の集中豪雨と台風災害のお見舞いと復旧対策費として、加治木町に五十万円を寄贈されました。

これは、生活共同組合連合会グリーンコープ事業連合（九州・山口・広島地区の二十一生協加盟）の支援のもと、県下一円を対象に取り組まれたもので、「みどりの地球をみどりのままで」をテーマに活動している同生協の、生活環境に対する強い思い入れがうかがえます。

ありがとうございました。

二トトラック一台分を回収 チリや空きカン拾い

NTT加治木支店

NTT加治木支店では十一月七日、社員やその家族八十人あまりが参加して、加治木町内の網掛川公園周辺や天神公園周辺、国道十号線沿いなどの清掃に汗を流しました。

これは、平成二年の電話百年を記念して、NTTが「環境クリーン作戦」として毎年十一月に行っているもので、今年で四回目。この日は、空きカン、空きビン、チリなど二トトラック一台分を回収し、みんなはその量の多さにびっくりしていました。

ごくろうさまでした。



こんなにたくさん

加治木
トピックス

見事に咲いた大輪の菊

町内菊同好会が展示

——秋といえば菊。晩秋のぬけるような青空めがけ、たくさんの大輪の花が精いっぱい背伸びしている。

町内菊同好会による菊花展が、九月二日から九日までの一週間、役場の中庭で開かれました。

役場を訪れたおおぜいの人は、その見事な出来ばえに自然と足を

止め、丹精こめて作られ見事に仕上がった菊を、感心しながら観賞していました。

代表の大脇三三さんは、会員らの作った菊を愛でながら「天候不順の年にしては、いい菊ができました」と満足そう。この菊は、六日に行われた「町健康づくり推進大会」でも活躍しました。

そら、走れ！

秋の火災予防運動

始良郡西部防火管理者等協議会は十一月九日、秋の火災予防運動として第二回消火技術競技大会を加治木町役場グラウンドで行いました。

これは、昨年から実施されているもので、始良郡西部消防組合管内の十一民間団体別にタイムレースとして実施。競技は、まず火災

発生の電話通報をし、その後、素早く消火器を持って走り、黒い煙をあげて燃え立つ油ナベの火を完全に消火するのを競うもので、参加した町内の加治木望岳園やシルバータウン、軽費老人ホーム龍門の里、(株)こうかななどの職員は、かねての訓練を生かしててきばきと処理していました。

龍門司焼
陶器祭

12月11日(土)
～12日(日)

みなさん
ぜひお出かけ
ください。



おちついて消火しよう



菊の香りに引き寄せられ…



ぐった。

三浦カズが、中山が、ラモスが……日本中のファンの期待を背に、あらん限りの力を、持てるすべての技を繰り出して頑張ったが、惜しくも最後のキック、イラク戦を落とした。

いや、あれは惜しいという一言では片づけられない、悲劇的

最後まであきらめず

不屈の闘魂で戦おう

な幕切れた。試合時間の四十五分を過ぎた、ロスタイムの後十何秒という最後の土壇場でひっくり返ってしまったのだ。

まさに、悪夢の一瞬だった。そのとき、テレビに釘付けだったすべての人の頭が真っ白になった。まるで、推理小説のどんでん返しを見る思いだった。

▼そうだ。これは戦う前から描かれていた筋書きだったのだ。悲願というのは、容易に達せられないから悲願なのである。これは、サッカーの神様たちが、日本サッカー界が世界に通用するように、今後を期して協議し

▼「日本サッカー、悲願のワールドカップ出場ならず」という大きな活字が日本中を駆けめ

た結果、最後にふるった愛のひとムチなのだ。けり落とされ、登りつめて登りつめて、やっとガケの上に手が届いたとたん、また真つさかさまに突き落とされるライオンの子と同じで、今、まさに試練のときなのだ。

だからといって、悲願することはない。野球でいえば、昨年のヤクルトだ。惜しくも涙を飲んだが、今年はたくましく成長し、土壇場で王者西武をやっつけた。これはサッカーにも通じる。今回の試練が、今後の日本サッカー界の飛躍のカテとなる

のはまちがいない。鬼が笑うかも知れないが、四年後のワールドカップは期待できる。

▼だが、それにしても、イラク戦では日本勢に一瞬のスキ、油断があったのは否めない。勝負とはあらゆるスポーツに通じることだが、不屈の闘魂を持つてのぞむことが大事なのだ。最後の最後まであきらめてはならないという教訓を、まざまざと見せつけてくれた試合だった。加治木町のちびっこサッカー選手には、このことを忘れず、これから大いにがんばってもらいたいものである。



老人クラブの方がさっそうと...

保健婦だより

健康づくり推進大会から

第十二回町健康づくり推進大会が十一月六日、福祉センターで開催されましたが、参加できなかった方々のためにその内容をここに紹介します。

この日は、会場全体が健康づくり一色に包まれ、町民総ぐるみの明るく楽しい健康祭りのふんいきの中で開催されました。

スローガン

明日ではおそい 健康づくり

三大成人病による死亡、または寝たきりを防ぐには、「健康づくりのための生活を習慣化する」ことが何より大切です。どんなに財

を積んでも、自分の健康だけは買えません。発症すると、よい医療ルートを求め、障害を抱えながらの生活、または再発を防ぐための努力をする生活がはじまり、本人や家族の苦労がはじまります。

展示コーナー

ガンや脳卒中のこわさを、パネルやフードモデルで展示。

健康づくりでは

ウォークのコース紹介

一万歩コースのほか、保健センターを中心に身近にあるコースを紹介。

栄養食の展示

高血圧食、貧血予防食、高脂血症食、用事食などのモデル食の展示

みそ汁の塩分濃度試験会

リサイクルコーナー

資源ゴミの出し方、分類の仕方や手作り石けんの販売など。

加工食品の販売

介護用品展示コーナー

寝たきり看護のためのベッド、寝具、衣服、オムツ、その他の展示及び相談

万歩計や血圧計販売

健康相談、血圧測定

薬草相談

● 県民の森（薬草園）で採取された薬草の展示、薬草酒展示及び相談
● 百草茶の試飲と販売

大会では

● 国民健康保険優良世帯の表彰

● 健康づくり体験発表

佐藤新平さん（内原田）と茶園淑子さん（天神）が、検診の早期発見を熱弁。

● 老人クラブ健康体操

昭和五十五年から実施して十三年目を迎え、健康づくりとしてやめられない健康体操を、七人の方（最高八十七歳）が共に実演。

寸劇

健康運動推進員ほか十人が、自作自演の寸劇を披露。「ガン早期発見」をテーマに、まったくの素人ながら、みんなで工夫して作り上げていました。

保健食

食生活改善推進員の手作りべんとうを試食。山菜おこわ、大根なます、牛乳かんなど

アトラクション

マジックショー

溝口直隆さん（東吉原）

● 踊り 野老迫悦子さん

● 民謡 宮脇信男さん

講演

鹿屋体育大学

芝山秀太郎教授

「中高年齢者の

健康づくりと運動」

12月行事予定表

日	曜	行事	時間	場所
1	水	機能訓練 システム健診結果報告会	13:00~13:30 13:11~13:00 (受付)	保健センター
2	木	訪問看護定例会 1・2才児歯科事業	13:10~15:00 13:12~13:00 (受付)	保健センター
3	金	ホリオワクチン投与 (脱漏)	13:45~14:00	町営体育館
6	月	健康相談 健康相談 システム健診結果報告会	9:00~9:30 9:30~10:11 10:11~10:30 (受付)	保健センター 辺川地区大字公民館 保健センター
7	火	健康相談 3か月児健診	13:10~15:00 13:15~13:00 13:00~14:00 (受付)	竜門滝温泉 保健センター
8	水	機能訓練 システム健診結果報告会	13:00~15:00 13:11~13:00 13:00~14:00 (受付)	保健センター
9	木	運動推進員研修会 母子健康相談	13:00~15:00 15:00~15:00	保健センター
10	金	基本健診	12:00~13:00 13:00~13:00 (受付)	保健センター
13	月	健康相談 システム健診結果報告会	13:00~15:00 13:11~13:00 13:00~14:00 (受付)	保健センター
14	火	基本健診結果報告会 6か月児健診	13:00~15:00 13:11~13:00 13:00~14:00 (受付)	保健センター
15	水	機能訓練 母親学級	13:00~15:00 15:11~15:00 15:00~16:00	保健センター
16	木	基本健診	12:00~13:00 13:00~13:00 (受付)	保健センター
17	金	3才児健診	13:00~15:00 15:13~15:00 15:00~16:00 (受付)	保健センター
19	日	一万歩ウォーキング	9:30~10:00 10:00~10:00	竜門滝温泉広場
20	月	健康相談 機能訓練	9:00~9:30 9:30~11:11 11:11~11:00 00:00	保健センター 健康トレーニングセンター
21	火	基本健診	12:00~13:00 13:00~13:00 13:00~14:00 (受付)	保健センター
22	水	三種混合予防接種 健康相談 1才6か月児健診	12:00~13:00 13:00~14:15 14:15~15:00 (受付)	町営体育館 竜門滝温泉 保健センター
24	金	食生活改善推進員研修会	9:30~11:00	保健センター
27	月	健康相談	9:30~11:00	保健センター

城南地区が二連勝！

町民体育祭

第四十五回町民体育祭は「体育の日」の十月十日、晴れ渡った秋空の下、町営運動場で盛大に開催されました。

大会は、城南、竜門、永原地区のしれつな接戦で盛り上がりましたが、城南地区が見事二年連続総合優勝を果たしました。

今年は、みんなが参加するようにと趣向をこらし、プログラムに抽選番号を印刷。一等はドレツサ！とあって、抽選箱の前は黒山の

人ばかりでしたが、見事一等賞に輝いた小陣の池ノ上サチ子さんは「うれしいでした」とたいへん喜んでいました。

〔成績〕

優 勝	二 位	三 位	四 位	五 位	六 位
城南地区	竜門	永原	錦江第二地区	木田第二	城東第一
83点	65点	64点	60点	58点	57点
木田第三	57点	57点	57点	57点	57点

八位	城北地区	56点
九位	城西	50点
十位	木田第一地区	44点
十一位	錦江第一	39点
十二位	錦江第三	33点
十三位	城東第二	24点

※主な種目別記録(敬称略)

〔OXゲーム〕

一位	郡山キヨ (須崎)
二位	湯田かおり (札立)
三位	岩澤奈津子 (城)
二位	大木兼次 (6分31秒5)
一位	原口正則
二位	古寺大悟
三位	福森友博
四位	榎谷祐輝
五位	

〔特別表彰者〕

- ▷社会体育功労者・グラウンドゴルフ
○原口昭治 (自営・新町)
●町グラウンドゴルフ協会の設立に努力し、初代会長として協会の発展に寄与。
●平成4年度第24回始良地区体育大会並びに第46回県民体育大会優勝監督
- ▷優秀スポーツ選手・陸上
○松田朗宏 (竜門小6年・毛上)
●第10回南日本小中学生陸上競技大会
6年男子ソフトボール投げ新記録 (61.08m)
- ▷優秀スポーツ選手・空手
○立山龍一 (鹿児島第1高校2年・東吉原)
●第12回全国高等学校選抜大会●平成5年度全国高等学校総合体育大会男子個人型 準決勝進出
- ▷優秀スポーツ選手・ボウリング
○米増充代 (会社員・小陣)
●第20回西日本選手権大会女子の部優勝
●第48回国民体育大会九州地区大会成年女子一部年齢別40歳代優勝
- ▷優秀スポーツ選手・陸上
○川田浩之 (加治木中3年・札立)
●第15回九州中学校陸上競技大会砲丸投げ出場
- ▷優秀スポーツ選手・弓道
○稲留大輔 (加治木高校3年・岩原西)
●第11回県高校弓道選手権大会男子団体優勝 個人2位
●第11回全国高校選抜弓道大会男子団体優勝
- ▷優秀スポーツ選手・サッカー
○城 彰二 (鹿児島実業高校3年・高井田)
○横山博敏 (鹿児島実業高校3年・小島)
○馬渡敏彦 (鹿児島実業高校2年・西堀入上)
●平成5年度九州高校サッカー大会優勝
●全国高校総合体育大会サッカー選手権大会優勝
●第4回日本ユースサッカー選手権大会準優勝
- ▷優秀競技団体・ソフトテニス
○加治木中学校ソフトテニス部
顧問 角屋敷順次教諭 主将 白坂哲也
選手 堂森義己・白坂哲也・小濱氏浩・川野植貴・園田洋輔・南郷聡司・池田英樹・坂元悠介
●全九州選抜研修大会男子団体第2位
●鹿児島県中学校総合体育大会男子団体優勝
●全九州中学校総合体育大会男子団体第3位
- ▷優秀競技団体・ソフトボール
○柁城ソフトボールスポーツ少年団
監督 宮嶋 實 主将 月野木進也
選手 坂上謙次・福元雄一郎・上野敏也・和田啓太・中島 泰・城村裕之・松本 豊・有馬康平・二宮弘治・田平裕幸・前島大樹・石原佳・桐山智行・田原春一幸・田之上陽祐・二見正志・横岡剛彦・原口徹郎・有村俊範・月野木進也
●第7回全国小学校男女ソフトボール大会県大会優勝 全国大会ベスト16



大会から



〔各種団体・一般四百メートルリレー〕	
男子	
一位	木村ブロック (51秒5)
二位	加治木養護学校
三位	始良西部消防A
女子	
一位	加治木クラブ (1分04秒2)
二位	竜門
三位	柁城
〔ギネス・長縄跳び〕	
一位	永原 (55回)
二位	城南
三位	▽三位 城西



総合優勝は前原孝志さん

義弘公奉賛弓道大会



りりしい若武者姿です

第二十六回義弘公奉賛弓道大会が十月三十一日、町営弓道場と加中体育館で開催されました。成績(敬称略)

- 〔団体〕優勝：始良E
〔個人〕四段以上男子優勝：白石昭夫▽三段以下男子優勝：前原孝志▽女子優勝：広田みき
〔総合優勝〕前原孝志(大口市) 中学生の部
〔団体〕男子優勝：城西中A▽二位：加中A
▽女子優勝：溝辺中A▽三位：加中C
〔個人〕男子優勝：尾口亮(重富中)▽四位：米森学(加中)▽六位：香川周一郎(加中)
▽女子優勝：遠原郁恵(重富中)▽四位：富松久美子(加中)▽九位：柳川未紀(加中)
高校生の部
〔団体〕男子優勝：鹿実A▽三位：加工B
〔個人〕男子優勝：古閑大輔(鹿実)▽二位：森健太郎(加工)

秋季ナイターソフトは

加治木クリーンが優勝

秋季ナイターソフトは、十月二十五日から十一月四日まで町営グラウンドでトーナメント戦方式で開催され、加治木クリーンがみごと優勝しました。

- ▽三位：役場ソフト
夏季大会(リーグ戦)
Aクラス優勝：木村産業
Bクラス優勝：あすなろ会
Cクラス優勝：加治木ラガー
※夏季大会は、八月の豪雨や九月の台風のため大幅に伸びました。



おめでとうございます



ゴムとびの要領で?

ソフトボール投げで新記録

松田 朗 宏くんと
月野木 進 也くん

町小学校陸上記録会

町内五小の陸上記録会は十月二十二日町営運動場で行われ、参加した男子三百十五人、女子二百九十六人の合計六百一十一人がいろいろな種目に挑戦しました。

中でも、今年七月二十五日伊集院町で行われた南日本小中学生陸上競技大会の六年男子ソフトボー

ル投げで大会新記録を作った松田朗宏くん(竜門小)が、他を圧倒する強さをみせつけました。
(新記録・敬称略)
六年男子ソフトボール投げ
従前の記録(64.94)
松田朗宏・竜門小 75メートル15
月野木進也・柁城小 69メートル22

個人優勝は山元美智子さん

福祉グラウンドゴルフ

第十一回福祉グラウンドゴルフ大会が十一月八日、十五チームが参加して町営運動場で行われました。

成績(敬称略)

- 〔団体〕
優勝：加治木混成A▽二位：ひまわり▽三位：柳田千年会
〔個人〕(一)内はスコア
優勝：山元美智子(34)
二位：日高シヅ子(37)
三位：永原初男(37)
(ホールインワン)
肥田(於里)▽山元二回(塩人)
▽永原(柳田)▽小川(柳田)▽川原(柳田)▽三宅(市来原)▽川原(竜門西元)▽木藤(萩原)



楽しいふんいきで

みなさん

本を読んでいますか

加治木幼稚園親子読書会

ご存知の方も多いかと思いますが、わたしたちの加治木町には、現在九つの親子読書会がそれぞれに活動しています。

今回から、これらの読書活動を順次紹介していきます。

(1) 加治木幼稚園親子読書会

代表 平良悦子

私たちの親子読書会は、発足以来八年目。今年は親子三十三人で、なごやかに楽しく活動しています。

毎週一回絵本を交換しています。



絵本の交換

すが、これを私たちは、親子読書をすすめる大事な手だてだと考えています。具体的には、町立図書館から学期ごとに四十冊の絵本を借りてきて、園での保育終了後、絵本の交換をしています。

「これを読んだことがある。おもしろかった」「私も読んでみようかな」などの子どもの声や母親からの感想も語られ、本選びの楽しいひとときです。

各家庭での読み聞かせの様子を二、三紹介してみよう。

◆ ◆ ◆

○ 子どもは、気に入った絵本は何度でも読みたがり、毎日寝る前に「本を読んで」と夜遅くなくても言ってきました。

○ 子どもが本をたくさん借りてきました。その日母親が忙しかつたので、父親に「読んであげて！」とお願ひしました。すると、思いがけなく父親が子どもに本を読んで聞かせることになり、それ以来、父親も本読みに参加するようになりました。

○ 幼稚園からの帰宅後は、遊びに夢中になるので、本読みは朝

と夜にしています。朝は忙しいのですが、十分でも読んでやると、満足して幼稚園に出かけていきます。

○ 読書会に入るまでは、図書館に行ったことがなかったのですが、今では貸出しカードも作り、本選びの楽しさを味わいながら、図書館通いが始まりました。

◆ ◆ ◆

このように、親子読書が各家庭で、すばらしい効果をあげていることをうれしく思います。

私たちの会では、各学期ごとに係を決めて、絵本交換と定例会を開いています。二学期は千鳥公園での紙芝居、野外遊び、クリスマス会に向けての楽しい企画を、親子で楽しみながら実施していく予定です。

私たちのこの活動が、子どもたちの感性を豊かにし、親子の心のふれあいを深め、やがて読書の習慣を身につけることになればと願っています。

そうして、目に見えないものが、次第に身につくことに喜びを感じながら、読み聞かせを続けていきたいと思っています。

※ 加治木幼稚園親子読書会は平成四年、県図書館から表彰を受けました。

ミカン狩りを楽しむ

町立保育所

加治木保育所と小山田保育所の園児たちは十一月十日、曲田の岩崎司さん所有のミカン園で楽しい一日を過ごしました。

この日は、幼児たちも父兄が一緒とあって、特にうれしそう。ミカン狩りを済ませると、今度は六月に植えたカライモの収穫です。長雨のせいで、カライモの成育が心配されましたが、掘ってみてびっくり。幼児たちは、その大きさにおどろくやら、保育園や家庭では体験できない自然を相手の遊びに喜び、園では聞こえない黄色い歓声をあげていました。



バーちゃんがとってもうれしそう

「子づみ屋」さんを表彰

通産省所管統計調査事業所

国道十号線沿いのねづみ屋角で知られる料理屋「子づみ屋」の堀内広基さんが、通産省所管統計調査事業所として表彰され十一月十一日、宇都宮町長から賞状と記念品が伝達されました。

「子づみ屋」さんは、昭和二十七年から商業統計調査を引き受けられ、調査の趣旨をよく理解し協力されてこられました。調査があるごとに、よく整理され、期限を守り、記入漏れもなかったことなどが特に認められたものです。



おめでとうございます

本十の鳩

ゾウの旅

「棕鳩十全集」ポプラ社（八〇三円）
 「ポプラ社文庫A12」ポプラ社（四〇二円）
 「棕鳩十動物叢書第九巻」小峰書店（一、〇八〇円）
 「棕鳩十えふん」あすなろ書房（八七六円）

南の国の大きな大きな森の中。

何日も何日も雨が降らず、沼の水もかれてしまい、ゾウの群れは、水と食べものを求めて旅に出かけます。ゾウは一日に一〇〇リットル以上の水が必要。

群れの中心は、雌と子どもで、年をとった雄がリーダーです。

群れは、辛抱強く歩き、水のおいしさをよりに広い沼につきますが、水はほとんどありません。

ゾウの群れは、疲れきった子どもゾウを両側にはさんで、苦しい旅をいく日もいく日も続けます。

昔からの友だちシラサギが飛んできて、ゾウの背中にとまり、虫をつつきはじめました。年をとったゾウは、シラサギが水のある所に住む鳥であることを知

っていて、シラサギの行く手をおいながら、一同を上げまはげまし旅を続けました。

ある日、とつぜん大きな沼に出了ました。ゾウの群れは、夢中で沼地の水の中にとびこみました。はらいっぱい水を飲みました。みずみずしい草を鼻でむしりつつ食べました。ゾウたちは幸福でした。

とそのとき、ダダンと大きな

音。かりゅうどたちが、向こうの木かけで、ゾウたちをまっかまえていたのです。

年をとったリーダーゾウは、鼻をまきあげ「にげろ！」と合図をし、仲間のゾウを救うため、五人のかりゅうどにむかって、おそいかります。

五人のかりゅうどはあわてました。いつせいに年をとったゾウをめぐって、鉄砲をぶっぱなしました。

年をとったゾウはおこりました。ひざをついては起きあがり、たおれては起きあがり、きずつきながらも、かりゅうどにむかっていきました。そして……

人間から不法な仕打ちをうけながら、自分たちの種族や子どもを守るために、動物たちが生きていく姿を、動物の側から生き生きと描いている作品の一つだと思えます。

いつ発表されたか、はっきりしませんが、昭和四十年前後の作品と推定されます。低学年向。（解説）

棕鳩十文学記念館

副館長 土田 眞資

加治木文化財ウオッチング（12）

黒川 岬

日本山川が錦江湾にそそぎ込む黒川の一帯は、昔は景色の美しい場所。四季を通して多くの人たちが訪れたといひ、たくさんのお話が伝わっていますので、その一部を紹介します。

黒川山の東南端は、海上に突き出て奇岩がそびえ立ち、草木も深く生い茂り、今ではあまり人の行かない場所ですが、昔はここに三つの神社があつて、海砂の中に鳥居が建っていたという事です。現在でも、大きな

石造りの灯籠が岬の斜面にいくつも残っていますが、そこまで行くには風波のため道が壊されて、満潮のときは行けません。まずこの地が最初に記録に出てくるのが、第七代島津元久の時代で、京都の足利將軍の使いが加治木を通りかかったとき、

黒川で食事、接待が行われたと記されています。よほど景色のいいところで、りっぱな建物が建っていたのでしよう。

また、この山中の岩壁に位牌の形が彫り込まれ、文字がたくさん刻んでありますが、今はすり減って読み取れなくなっています。おそらく、ここが合戦の舞台となつたとき、戦死した武士の供養と法名が印されているといわれています。

天文十八年五月二十九日、加治木城主肝付兼演が島津氏にそむいたので、島津氏は伊集院忠朗に命じて討たせました。このとき、伊集院忠朗が布陣したのがこの黒川で、その場所を「陣ヶ平」と呼んでいます。この陣と肝付兼演の陣とは川をはさんで向かい合っていました。今その場所を「向



加治木八景の石碑
黒川岬の激浪



奇岩が織りなす風景

陣」といっています。両軍数日の間、激戦を続けましたが、なかなか勝負がつきませんでした。そのとき、陣ヶ平から向陣に火矢が打ち込まれました。そのため、兼演の陣は焼かれ、とうとう兼演は降参してしまいました。

今では、陣ヶ平は山林になっていますが、昔、畑を耕しているとき、たくさんの刀や槍が出てきたそうです。また、西南の役のとき、薩軍がこの近くに大砲を設置し、敵艦を攻撃した場所でもあって、この美しい景勝地は血なまぐさい歴史もあわせもった所なのです。

〔参考 加治木物語〕

